

2025 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | |
|---------|------------|-----------------|-----|-----------|-----------------|
| 学 科 | 柔道整復スポーツ学科 | 科 目 区 分 | その他 | 授業の方法 | 講義 |
| 科 目 名 | トレーニング科学 I | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年生 | 学期及び曜時間 | 前期 | 教室名 | トレーニングルーム・301教室 |
| 担 当 教 員 | 小川 雅志 | 実務経験と その関連資格 | | | |

《授業科目における学習内容》

1年時に習得したJATI-ATI認定試験で合格できるだけの基礎的な知識及び実技技術をベースとし、より発展的な「専門知識」及び指導現場で活用できる「実技力・運動指導の力」を磨く。そしてその延長線上にあるJATI-ATI試験の合格を目的とする。

《成績評価の方法と基準》

レポート課題中心。また授業内における小テスト及びグループワーク課題を評価。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

トレーニング指導者テキスト 実践編／トレーニング指導者テキスト 理論編

《授業外における学習方法》

指定した教科書を事前に読んでおく事

《履修に当たっての留意点》

JATI-ATIの資格取得を目的とした授業であることはもちろんのこと、トレーニングの最新情報やトレンドに関しても授業内容に盛り込み、日進月歩な研究と実践を繰り返されているトレーニング科学が現在どのように反映されているのかを、学生に伝えていきたいと思います。

| 授業の 方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|-----------------|-----------------|---------------------------------------|--------------------|-----------------------|
| 第1回 講義形式 | 授業を通じての 到達目標 | トレーニング指導者の役割と現状について理解する | プロジェクター、 配布プリント | 授業で行なった内容を 復習しておく事 |
| | 各コマにおける 授業予定 | トレーニング指導者とは。職業区分、必要な知識・技術、行動倫理について | | |
| 第2回 講義形式 | 授業を通じての 到達目標 | トレーニング計画の立案のための基礎知識を理解する | プロジェクター、 配布プリント | 授業で行なった内容を 復習しておく事 |
| | 各コマにおける 授業予定 | トレーニングの準備性について、回復モデル、トレーニングの効果について | | |
| 第3回 講義形式 | 授業を通じての 到達目標 | トレーニング計画の立案の流れを理解する | プロジェクター、 配布プリント | 授業で行なった内容を 復習しておく事 |
| | 各コマにおける 授業予定 | ニーズ分析、スクリーニング、目標設定、プログラム変数の設定方法 | | |
| 第4回 講義形式 | 授業を通じての 到達目標 | トレーニング計画の実際に作成してみる | プロジェクター、 配布プリント | 授業で行なった内容を 復習しておく事 |
| | 各コマにおける 授業予定 | グループディスカッションにてクライアント(仮)にトレーニング計画を作成する | | |
| 第5回 講義形式 | 授業を通じての 到達目標 | ベーシックレジスタンストレーニング実技を行い、内容の確認を行う | なし | 事前に1年時の内容の復習をしておく |
| | 各コマにおける 授業予定 | BIGを中心としたレジスタンストレーニングの実技、1年時の復習 | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|--------------|-------------|--|----------------|-------------------|
| 第6回 講義形式 | 授業を通しての到達目標 | ウェイトプログラムデザインに必要な基礎知識を理解する | プロジェクター、配布プリント | 授業で行なった内容を復習しておく事 |
| | 各コマにおける授業予定 | 目的別によるプログラム変数の仕組みを学ぶ | | |
| 第7回 講義形式 | 授業を通しての到達目標 | ウェイトプログラムデザインに必要な基礎知識を理解する | プロジェクター、配布プリント | 授業で行なった内容を復習しておく事 |
| | 各コマにおける授業予定 | セットシステム、特殊なトレーニング方法等 | | |
| 第8回 講義形式 | 授業を通しての到達目標 | ウェイトプログラムを実際に作成してみる | プロジェクター、配布プリント | 授業で行なった内容を復習しておく事 |
| | 各コマにおける授業予定 | グループディスカッションにてクライアント(仮)にウェイトプログラムを作成する | | |
| 第9回 講義形式 | 授業を通しての到達目標 | 年間計画(ピリオダイゼーション)について理解する | プロジェクター、配布プリント | 指定した教科書を事前に読んでおく事 |
| | 各コマにおける授業予定 | 様々なピリオダイゼーションについて、期分けについて | | |
| 第10回 講義形式 | 授業を通しての到達目標 | 他種レジスタンストレーニング実技を行い、内容の確認を行う | なし | 指定した教科書を事前に読んでおく事 |
| | 各コマにおける授業予定 | レジスタンストレーニングの実技を通じて必要な知識をより掘り下げる | | |
| 第11回 講義形式 | 授業を通しての到達目標 | パワー向上トレーニングの内容及びプログラムデザインを理解する | プロジェクター、配布プリント | 指定した教科書を事前に読んでおく事 |
| | 各コマにおける授業予定 | パワーの発揮様式、トレーニングプログラム変数を学ぶ | | |
| 第12回 講義形式 | 授業を通しての到達目標 | クイックリフトの実技を行い、内容や注意点を身を以て体感する | なし | 指定した教科書を事前に読んでおく事 |
| | 各コマにおける授業予定 | クリーン、スナッチの実技。分類、フォーム・指導方法について学ぶ | | |
| 第13回 講義形式 | 授業を通しての到達目標 | プライオメトリクスの実技を行い、内容や注意点を身を以て体感する | プロジェクター、配布プリント | 指定した教科書を事前に読んでおく事 |
| | 各コマにおける授業予定 | 下肢／上肢／全身のプライオメトリクスの実技。分類、目的を学ぶ | | |
| 第14回 講義形式 | 授業を通しての到達目標 | バイオメカニクス理解に必要な基礎知識を学ぶ | プロジェクター、配布プリント | 指定した教科書を事前に読んでおく事 |
| | 各コマにおける授業予定 | キネマティクスとキネティクス、てこの原理について理解する | | |
| 第15回 講義形式 | 授業を通しての到達目標 | 運動動作におけるバイオメカニクスについて理解する | プロジェクター、配布プリント | 指定した教科書を事前に読んでおく事 |
| | 各コマにおける授業予定 | 人体機能におけるてこ、運動動作のバイオメカニクスについて学ぶ | | |